

12月18日(水)

⚙️ 新学術領域研究

[脳構築の時計と場] [スクラップビルド] [マルチスケール脳]  
合同若手シンポジウム

次世代脳プロジェクト  
冬のミニポジウム 2019



新学術領域研究

# [脳構築の時計と場][スクラップビルド][マルチスケール脳] 合同若手シンポジウム

12月18日(水) 10:00 - 17:00 【中会議場1-4】

■影山龍一郎・京都大学

■榎本和生・東京大学

■林(高木)朗子・理化学研究所

平成28年度に開始した新学術領域研究「脳構築の時計と場」は神経幹細胞から脳が構築される分子機構の解明を、「スクラップビルド」は神経回路の機能再編を実現する分子機構の解明を目指している。一方、平成30年度から開始した「マルチスケール脳」は精神疾患を多階層に、そして種横断的に理解することを目指している。これら3領域は研究対象や手法がお互いにオーバーラップしていることから、領域間の交流を推進することで新たなブレイクスルーがもたらされることが期待される。そこで、本シンポジウムでは、「スクラップビルド」、「脳構築の時計と場」、「マルチスケール脳」の3つの新学術領域における新進気鋭の研究者に最新の研究成果を発表していただき、異なる領域間の研究者交流や共同研究の推進を図る。

## <タイムテーブル>

10:00 ~ 10:20	グアニン四重鎖を標的にした神経疾患の病態解明と治療薬開発 塩田 倫史 (熊本大学)
10:20 ~ 10:40	ヒト固有遺伝子により駆動された脳進化メカニズム 鈴木 郁夫 (東京大学)
10:40 ~ 11:00	胎生期神経系前駆細胞の運命制御における細胞周期制御機構の役割 原田 雄仁 (東京大学)
11:00 ~ 11:20	血液脳関門を標的とした精神疾患の創薬にむけて 和氣 弘明 (名古屋大学)
11:20 ~ 11:40	神経過活動による細胞周期再進入と脱成熟 村野 友幸 (藤田医科大学)
11:40 ~ 12:00	成体脳神経幹細胞の活性化機構 末田 梨沙 (京都大学)
12:00 ~ 13:00	休 憩
12:00 ~ 13:20	シナプス機能の増強を維持する記憶のメカニズム 實吉 岳郎 (京都大学)
13:20 ~ 13:40	発達期の脳におけるシナプス後肥厚のリモデリング 貝塚 剛志 (理化学研究所)

- 13:40 ~ 14:00 脳構築の“場”としてのサブプレート層の大脳新皮質発生における機能  
丸山 千秋 (東京都医学総合研究所)
- 14:00 ~ 14:20 生体脳内ゲノム編集技術の開発と応用  
三國 貴康 (新潟大学)
- 14:20 ~ 14:40 Gogo 受容体の機能的二面性  
武智 広樹 (東京工業大学)
- 14:40 ~ 15:00 リーリン受容体によるニューロン移動制御機構  
廣田 ゆき (慶應義塾大学)
- 15:00 ~ 16:00 ポスターセッション
- 16:00 ~ 16:20 恐怖記憶再固定化と消去エンGRAMニューロンの同定と機能解析  
石川 理絵 (東京大学)
- 16:20 ~ 16:40 胎児期におけるニューロン産生ペースの制御  
畠山 淳 (熊本大学)
- 16:40 ~ 17:00 小胞体 - ミトコンドリア接触のニューロンにおける役割  
平林 祐介 (東京大学)